

鳴門市版暮らサポ ～開設までにおけるSCの役割と活動～

鳴門市では、SC選出からわずか10か月で鳴門市版暮らサポが3か所も開設された。そこにはSCが果たしてきた役割が大きい。SCが住民にどう関わり、どのような役割を果たしてきたのかを簡潔にまとめた。

鳴門市版 暮らサポ ～開設までにおけるSCの役割と活動～

徳島県鳴門市

■鳴門市の概要■

人口:57,394人
世帯数:26,337世帯
高齢化率:33.8%



2019.4.30現在

県下で最初に基幹型包括支援センター、鳴門市版ネウボラ(子育て世代包括支援センター)を開設。市内57か所でPT・OTと連携し「いきいき百歳体操」を取り入れたサロンを展開。



橋を渡れば、大阪から車で約2時間

■鳴門市版暮らサポ開設までの鳴門市の流れ■

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 2017.5 第1回地域づくりフォーラム開催 | 2018.2 第1層協議体設置 |
| 2017.8 第1回大づかみ方式勉強会 | 2018.7 第2層協議体設置 |
| 2017.9 第2回大づかみ方式勉強会 | 2018.10 暮らサポ「みんなの家Asa居」開設 |
| 2018.1 生活支援コーディネーター(SC)選出 | 2018.11 暮らサポ「むや」 暮らサポ「縁どころ」開設 |

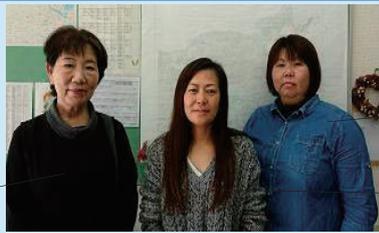
SC選出からわずか10か月で3か所の暮らサポ開設に!

鳴門市生活支援コーディネーター(SC)

フォーラムや勉強会に継続して参加!

意欲あり!フットワークが軽い!

ケアマネ・サロン世話人
高齢者・障がい者総合相談
経験あり



助け合い・支えあい活動に理解・経験あり!

NPOで助け合い・生活支援サービス活動経験あり

介護予防事業運営・多世代交流活動経験あり

目指す地域の姿の意識の統一

人脈を生かし地縁組織などへの働きかけ

関係者のネットワーク化

地域ニーズと資源の見える化・課題抽出・政策提案

足で情報を集め、人と人、思いと仕組みをつなぐ

勉強会のアンケートをもとに地域のニーズを聞き取り調査し、地域課題を抽出
いきいきサロンや地元商店街、地域活動を行っている方に直接お会いし、情報収集
助け合いサービスの拠点探しに、空き家や空き店舗等をまわり説明・交渉
サロンに困りごと相談や介護保険外の生活支援サービス(食事提供など)を備えた
第1層・2層協議体と暮らサポでの連絡調整

第2層協議体設置

第2層協議体設置

第2層協議体設置

共生型常設型居場所「鳴門市版 暮らサポ」開設に!

みんなの家Asa居



中庭の広い
空き家の1階を利用

商店街の
空き店舗を利用

むや



四国88か所
1番札所
お接待処
第九の故郷
有形文化財

縁どころ



■今後のSCの活動■

- ・集めた情報が見える化し、市民に提供する
- ・地域特性に応じた生活支援サービスを創出しマッチングする
- ・生活支援の担い手を発掘し、組織化を行う

★目指す姿★

生きがいつくり 介護予防
地域に応じた生活支援サービス
多世代交流